

2 発生抑制に係る事業

2.1 海外交流事業の計画・運営

2.1.1 参加者への事前送付資料

2019.1.24 版

2019年 東アジア地域漂着ごみ対策交流事業の概要

<目次>

1 目的	1
2 参加団体	1
3 行程表	4
4 宿泊施設情報	6
5 その他	9
6 集合場所 (1/25)	9
7 緊急連絡先	11

1 目的

沖縄県内で見られる海岸漂着ごみは、その多くが海外由来であるものの、県内由来のものも含まれ、特に人口の多い地域では地元から発生したごみの割合が高くなる傾向にあります。したがって、海岸漂着ごみの発生抑制対策を進めていくためには、地域関係者の中で漂着状況とその対策方法を情報共有した上で、普及啓発・環境教育の取組推進が不可欠であり、更にはこれらを担う人材の育成と確保も必要になります。海岸漂着物の問題は、県内だけの問題に留まらないことから、近隣諸国との情報共有と連携を踏まえた対策を進めることも有効であると思われます。本事業は、参加各国が交流の成果をそれぞれが今後の環境教育や普及啓発等の活動に取り入れ、海岸漂着物の発生抑制を推進することを目的として実施します。

2 参加団体

沖縄からは沖縄県環境部環境整備課、沖縄県海岸漂着物の発生抑制対策ワーキンググループの構成員、台湾からは台湾行政院環境保護署、新北市、基隆市、花蓮県及び TOCA（台湾海洋クリーンアップ連盟）等が参加します。また、上海、福建の行政関係者、民間団体も参加します。

3 行程表

日程		開催方法	場所	宿泊
1月25日 (金)	午前	移動 ※昼食は搭乗前または機内で各自で済ませてください。 ※空港到着後、MRTで台北市に移動	那覇→台北市 成田→台北市	「享趣商旅」 新北市三重区成功路97号
	午後	オリエンテーション (15:30-17:30) ・開催趣旨、交流事業、沖縄県の取組の説明 ・台湾臨海19県のごみモニタリング調査結果及びドローンを利用したごみ調査の初歩的な研究 ・台湾海洋保育署の取組紹介 ・花蓮県による取組紹介 ※荷物を専用車でホテルに送る予定	台湾 EPA 会議室 (台北市中華路一段83号)	
		夕食(ホスト:台湾EPA): (17:30-) 寧夏夜市 [ニンシャー・イエスー] で開催 (台北市内で初めてプラスチックフリーを実現した夜市)	寧夏夜市 (103 台北市大同區寧夏路)	
1月26日 (土)	午前	見学-iTrash無包装ショップ (9:30-) ・事前説明 (綠色平和基金会事務所にて iTrash 関係者より説明) ・iTrash 無包装ショップ	台北市内 ※施設見学、基隆市までの移動は専用バス利用	「国立海洋科技博物館」の宿泊施設 基隆市中正区八斗子 ※藤田さんは台北にさらに一泊(ホテルまでタクシー移動)。翌朝帰国。
	午後	見学-里仁商店 (有名な有機食品を専門に扱う店) ・事前説明 (里仁商店の施設にて里仁商店関係者より説明) ・里仁商店 ※里仁商店より沖縄側の参加者にインタビューしたい、との申し出あり。 ※夕食は各自 (自由行動)		
1月27日 (日)	午前午後	ワークショップ (9:30-17:30) ・「博物館長あいさつ」 ・「プラスチック削減事例の紹介」 ・グループ討議 ~プラ削減に向けた課題と対策~ ・ポスターセッション ・フリー分科会 (4 テーマを公募し、それぞれでグループ討議を実施) ※14:00 ごろ沖縄県3名帰国 (空港までタクシー利用) ※台湾環境資訊協会より記者の取材 ※団体紹介ポスター等資料をご持参ください。 ※夕食は各自 (自由行動)	国立海洋科技博物館	宿泊同上 ※朝食はお弁当を用意します。

日程		開催方法	場所	宿泊
1月28日 (月)	午前	合同海岸調査 (9:30-11:30) <ul style="list-style-type: none"> ・共同モニタリング調査の実施 ・マイクロプラスチック調査の実施と共同実施のための協議 ※防寒具、雨具、軍手はご持参ください。	国立海洋科技博物館周辺の海岸	同上
	午後	移動 ※沖縄 (空港までタクシー利用) ※中国参加者+通訳 (台北までタクシー利用)		

4 宿泊施設情報

「享趣商旅 (JOY HOTEL)」 (1/25 宿泊)	
住所	新北市三重区成功路 97 号 (MRT 三重駅まで徒歩 10 分)
URL	http://joy.hedohotel.com/
TEL	+886 2 2970 1533
周辺地図	
その他	無料朝食あり

「桃園城市商旅航空館 (City Suites Taotuan Gateway)」(藤田さんのみ 1/26 宿泊)	
住所	桃園縣大園鄉中正東路 442 號
URL	http://www.citysuireshotels.com/jp/桃園航空館
TEL	+886-3-385-3017
周辺地図	
その他	翌朝は空港までタクシーで移動してください。

「国立海洋科技博物館 併設宿泊施設」 (1/26-27 宿泊)	
住所	基隆市中正区八斗子
URL	国立海洋科技博物館 (https://www.nmmst.gov.tw/chhtml/)
TEL	+886 2 2469 6000
周辺地図	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・朝食はお弁当を用意します（飲み物はありません）。 ・施設内に給湯器と給水器があります。 ・タオルとシャンプーは各部屋にあります。

5 その他

5.1 マスコミの同行、写真等の掲載について

- 当日はマスコミが同行し、取材する可能性があります。撮影、掲載等に不都合のある方は事前に事務局までご連絡ください。

5.2 持ち物

- 航空券 (E-ticket)、着替え、洗面用具、常備薬等、宿泊滞在に各自必要なもの
- 団体の紹介資料 (ポスター・印刷物等) ※1/27 ポスターセッション用
- 雨具、防寒具、軍手、帽子を必ずお持ちください。 ※1/28 合同海岸調査用
- 動きやすい靴 (水中には入りません。) ※1/28 合同海岸調査用
- ごみ削減のため、マイ箸、マイボトル (又はマイカップ) をご持参ください。

5.3 諸費用について

- 謝金及び旅費は沖縄県の規定に従ってお支払いいたします。
- (国内移動のため日程前後で宿泊等される方のみ) 宿泊施設等の領収書をお受け取りになり、期間後1週間以内に事務局まで返信用封筒にてご送付ください。後日精算いたします。
- 1/25～1/27 の宿泊費は事務局が精算いたします。ただし、ホテル等で使用された外線電話、ルームサービス等の利用料金については、個人負担となりますので、各自チェックアウト時にお支払いください。
- 1/25 の夕食、1/26 の昼食、1/27 の朝食、昼食、1/28 の朝食は事務局で用意いたします。それ以外の食事は各自でお済ませください (1/26 の朝食はホテルの朝食をご利用ください (無料))。

6 集合場所 (1/25)

集合 場所	<u>那覇空港国際線旅客ターミナル 2階</u> <u>航空会社カウンター前</u> 集合 AM 10:00
----------	---

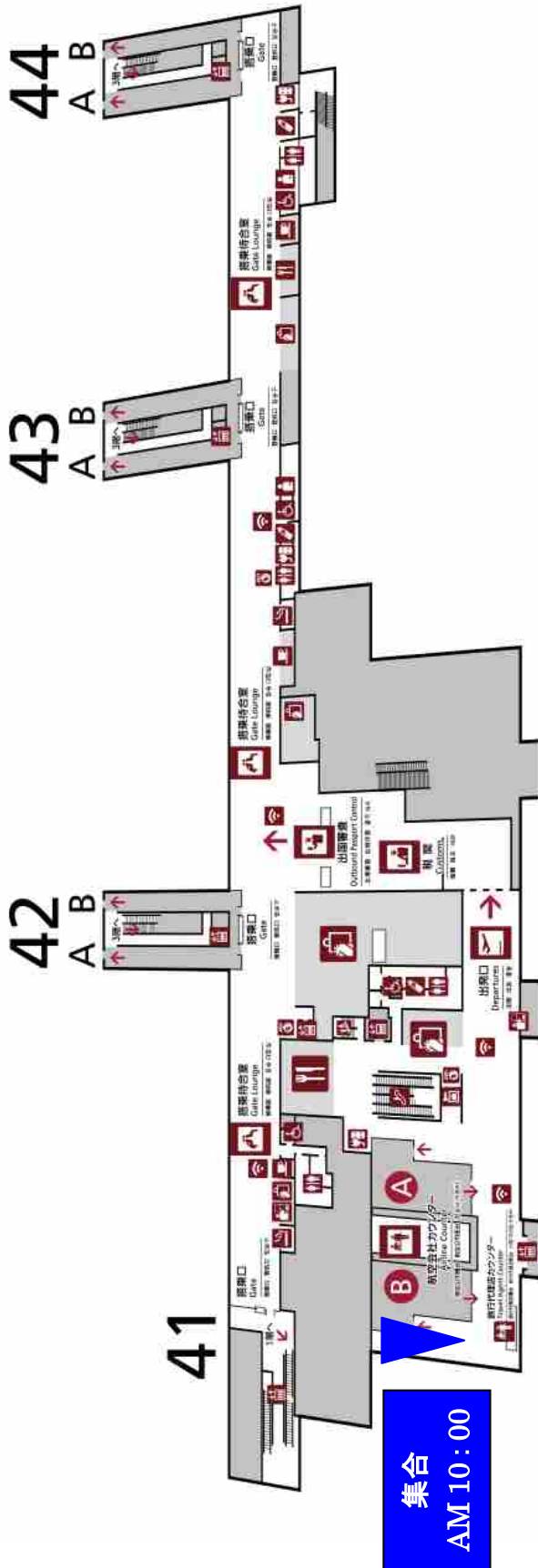
2F



出発ロビー
Departure Lobby
出発大廳 出发大厅 출발 로비



航空会社カウンター
Airline Counter
航空公司櫃台 航空公司柜台 항공사 카운터



お手洗
Toilets

洗手间 洗手間 화장실



授乳室
Nursery

母婴室 母婴室 수유실



オストメイト対応設備
Ostomate Facility

便口者の設備 便口者の設備 오스트메이트 대응 설비



自動体外式除動器 (AED)
Automated External Defibrillator

自動体外式除動器 自動体外式除動器 자동体外충격기



喫煙室
Smoking Room

吸烟室 吸烟室 흡연실



エレベーター
Elevator

電梯 电梯 엘리베이터



エスカレーター
Escalator

自动扶梯 自动扶梯 에스칼레이터



無料 Wi-Fi
Free Wi-Fi

免費的Wi-Fi 免費的Wi-Fi 免費Wi-Fi



フリーコンセントコーナー
Charging area

充電區 充電區 충전 영역



階段
Stairs

樓梯 楼梯 계단



コインロッカー
Coin Locker

投幣行李櫃 投幣行李櫃 동전보관함



自動販売機
Vending machine

自動售貨機 自動售貨機 자동판매기



飲食店
Restaurant

食堂 餐厅 餐廳



ショップ
Shop

商店 商店점

2019 年 東亞地區海洋垃圾對策交流事務概要

1 目的

沖繩縣於 2009 年起，運用日本政府補助金推動以瞭解海漂垃圾情況為目的進行之調查工作，並著手研擬解決方案，進行垃圾清運處理、避免垃圾產生之相關普及啟蒙活動和環保教育等多項工作。

儘管沖繩縣的海岸漂流垃圾當中，許多都是來自國外的垃圾，但來自縣內的垃圾也不少，尤其是人口較多的地區產生的垃圾，更是占了相當高的比例。有鑑於此，為了推動避免海漂垃圾產生的解決方案，需由地方相關人士針對海漂垃圾情況與解決方案共享資訊，而普及啟蒙及環保教育方面的計畫更是不可或缺，更重要的是必須培育及確保能夠擔此重任的人才。

此外，海漂垃圾不只是縣內的問題，如果能與鄰近國家建立起共享資訊與互惠合作的關係，據此合作基礎推動解決方案，將可大幅度提升執行效率。

本交流事務的目的在於把交流的成果反映至相關地區的環保教育與普及啟蒙等活動上，進而達成減少海洋垃圾產生的效果，希望各參與交流的地區都能實惠均霑、分享活動的成果。

2 參加對象團體

交流事務參加團體如下。來自沖繩有沖繩縣環境部環境整備課、沖繩縣海洋垃圾產生減量對策 Working Group 成員；來自台灣則有台灣行政院環境保護署、新北市、基隆市政府、台灣清淨海洋行動聯盟（以下, TOCA）等團體。另外，來自上海與福建的行政單位人員與民間團體與會。

3 行程表

時程		活動內容	地點	備註
1月25日 (五)	上午	移動(來台) 最晚隊伍預計 12:30 抵達桃園國際機場	那霸→台北市 成田→台北市	
	下午	事前說明會 (15:30-17:30) <ul style="list-style-type: none"> · 舉辦主旨, 交流事務的說明: 沖繩縣 · 台灣臨海 19 縣市地區海洋廢棄物監測調查結果及運用無人機進行海洋廢棄物調查的初步研究: 環保署環管處 · 台灣海洋保育署的海漂相關業務的介紹: 台灣海洋保育署 · 花蓮縣的近況報的介紹 (影片觀賞) 	環保署會議室 台北市中華路一段 83 號 (預定開始時間: 15:30; 請台灣方面的與會人員自行至會議地點集合)	
		晚餐 (17:30 -): 寧夏夜市為台北市第一個無塑夜市, 晚餐可享用夜市料理, 用餐完大家可在夜市觀察商家如何進行不塑	寧夏夜市 (103 台北市大同區寧夏路)	
1月26日 (六)	上午	台北市內綠色, 減塑商店的參觀 (09:30 -) · 無包裝商店 iTrash ※事前說明將借用綠色和平基金會場地 臺北市中正區重慶南路一段 109 號	台北市內 ※台灣方面的與會人員請自行在集合時間前至綠色和平基金會台北辦公室集合 ※移動將以包車方式所以總人數將限制在 43 人以內 ※中餐於永康街豐盛食堂用餐 (事務局提供)	
	下午	· 里仁商店 ※事前說明將借用里仁場地		
1月27日 (日)	上午 下午	研討會 (9:30-17:30) <ul style="list-style-type: none"> · 國立海洋科學博物館館長的致詞 · 「有關微塑粒減量的普及與推動方式」 · 「研商微塑粒減量的公開研討會的舉辦與研討內容」 · 與會單位的海報的簡介 · 分組討論 	國立海洋科學博物館 ※當天將有環境資訊協會協調的記者採訪 ※中午事務局提供便當給參加研討會人員 ※沖繩縣行政人員約於 14:30 提早離開會場返國	※協辦單位國立海洋科學博物館安排

日 程		開 催 方 法	場 所	宿 泊
1月28日 (一)	上午	<p>共同海岸勘查 (9:30-11:30)</p> <ul style="list-style-type: none"> · 舉行共同海岸勘查 · 調查對象以微塑粒為主, 討論如何進行共同調查等。 <p>※協辦單位國立海洋科學博物館協助安排調查工具與垃圾處理</p>	<p>國立海洋科學博物館附近海岸</p> <p>※徒步往返海科館與附近望海巷海灘</p>	
	下午	<p>於海洋科學博物館原地散會</p> <p>移動 (分批搭計程車往台北與桃園機場)</p>	<p>基隆市→那霸</p> <p>基隆市→成田</p>	

2019年 东亚地区海洋垃圾对策交流事务概要

<目 錄>

1 目的	1
2 参加对象团体	1
3 行程表	4
4 住宿信息	5
5 其他	7
6 集合地点 (1/25)	7
7 紧急联络方式	9



1 目的

尽管在冲绳县的海岸漂流垃圾当中许多都是来自国外的垃圾，但来自本县内的垃圾也不少，尤其是人口较多的地区产生的垃圾，更是占了相当大的比例。有鉴于此，为了推动减少海漂垃圾的解决方案，需由地方相关人士针对海漂垃圾情况与解决方案共享信息，而普及和启蒙、环保教育方面的计划更是不可或缺，更重要的是必须培育及确保能够担此重任的人才。

此外，海漂垃圾不只是县内的问题，如果能与邻近国家和地区建立起共享信息、互惠合作的关系，在此基础上推动解决方案将可大幅度提升实施效率。

本交流事务的目的在于把交流的成果反映至相关地区的环保教育与普及启蒙等活动上，进而达成减少海洋垃圾产生的效果，希望各参与交流的地区都能实惠均沾、分享活动的成果。

2 参加对象团体

2019年的交流事务参加团体如下。来自冲绳有冲绳县环境部环境整備课、冲绳县海洋垃圾产生减量对策 Working Group 成员；来自台湾则有台湾行政院環境保護署，新北市，基隆市政府，台湾清淨海洋行动联盟（以下, TOCA）等团体。另外，上海与福建的行政单位人员与民间团体与会。

3 行程表

日程	開催方法	場所	住宿
1/25	開幕式 (15: 30-17: 30) <ul style="list-style-type: none"> ・ 举办主旨, 交流事务的说明 : 冲绳县 ・ 台灣臨海 19 縣市地區海洋廢棄物監測調查結果及運用無人機進行海洋廢棄物調查的初步研究: 環保署環管處 ・ 台灣海洋保育署的海漂相關業務的介紹: 台灣海洋保育署 ・ 花蓮縣的近況報的紹介 (影片觀賞) 	台灣 EPA 會議室 (台北市中華路一段 83 号)	「享趣商旅」 新北市三重区 成功路 97 号
	晚餐(環保署提供) : (17: 30-) 寧夏夜市為台北市第一個無塑夜市, 晚餐可享用夜市料理, 用餐完大家可在夜市觀察商家如何進行不塑		
1/26	台北市內綠色, 減塑商店的參觀 (9: 30 -) <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前说明将借用绿色和平基金会场地 ・ 无包装商店 iTrash ※中餐於永康街豐盛食堂用餐 (事務局提供)	台北市內	「国立海洋科学博物馆的学员宿舍」 基隆市中正区 八斗子
	見学-里仁商店 (有名な有機食品を専門に扱う店) ※事前说明将借用里仁场地 ※晚餐(自由行動)		
1/27	Word shop (9: 30-17: 30) <ul style="list-style-type: none"> ・ 國立海洋科學博物館館長的致詞 ・ 「有關微塑粒減量的普及與推動方式」 ・ 「研商微塑粒減量的公開研討會的舉辦與研討內容」 ・ 與會單位的海報的簡介 ・ 分組討論 ※請帶團體海報等材料。 ※晚餐(自由行動)	國立海洋科學博物館	「国立海洋科学博物馆的学员宿舍」 ※事務局提供早餐予住宿人員

日程	開催方法	場所	宿泊
1/28	共同海岸勘查 (9: 30-11: 30) <ul style="list-style-type: none"> ・ 舉行共同海岸勘查 ・ 調查對象以微塑粒為主, 討論如何進行共同調查等。 	國立海洋科學博物館附近海岸	※事務局提供早餐予住宿人員
	於海洋科學博物館原地散會移動 (乘出租車)		

4 住宿信息

「享趣商旅 (JOY HOTEL)」 (1/25)	
住所	新北市三重区成功路 97 号
URL	http://joy.hedohotel.com/
TEL	+886 2 2970 1533
周辺地図	
早餐	附早餐

「國立海洋科學博物館的學員宿舍」 (1/26-27)

住所 基隆市中正區八斗子

URL 國立海洋科技博物館 (<https://www.nmmst.gov.tw/chhtml/>)

TEL +886 2 2469 6000

周辺地図



5 其他

5.1 出发

- 机票：电子机票会用 e-mail 传送给各位相关人员，请确认后自行打印携带。

5.2 有关媒体的采访・摄影等

- 开幕式与 Workshop 当日有相关的报社与大众传播媒体到场做采访。采访的结果将会刊登在报纸，网页 HP 等。在此先行告知敬请谅解与包涵。如不便接受拍摄或刊登照片，请事先与事务局联络。

5.3 携带物品

- 雨具（雨衣）
- 帽子
- 便于行动的鞋子 ※1/28 共同海岸勘查时用
- 御寒衣物
- 携带物品（除了换洗衣物，盥洗用具，日常药品等参访期间各自需要物品之外）
- 团体的介绍资料（海报或印刷物） ※1/27 Poster session 用
- 为减少垃圾的产生请自带餐具莅临



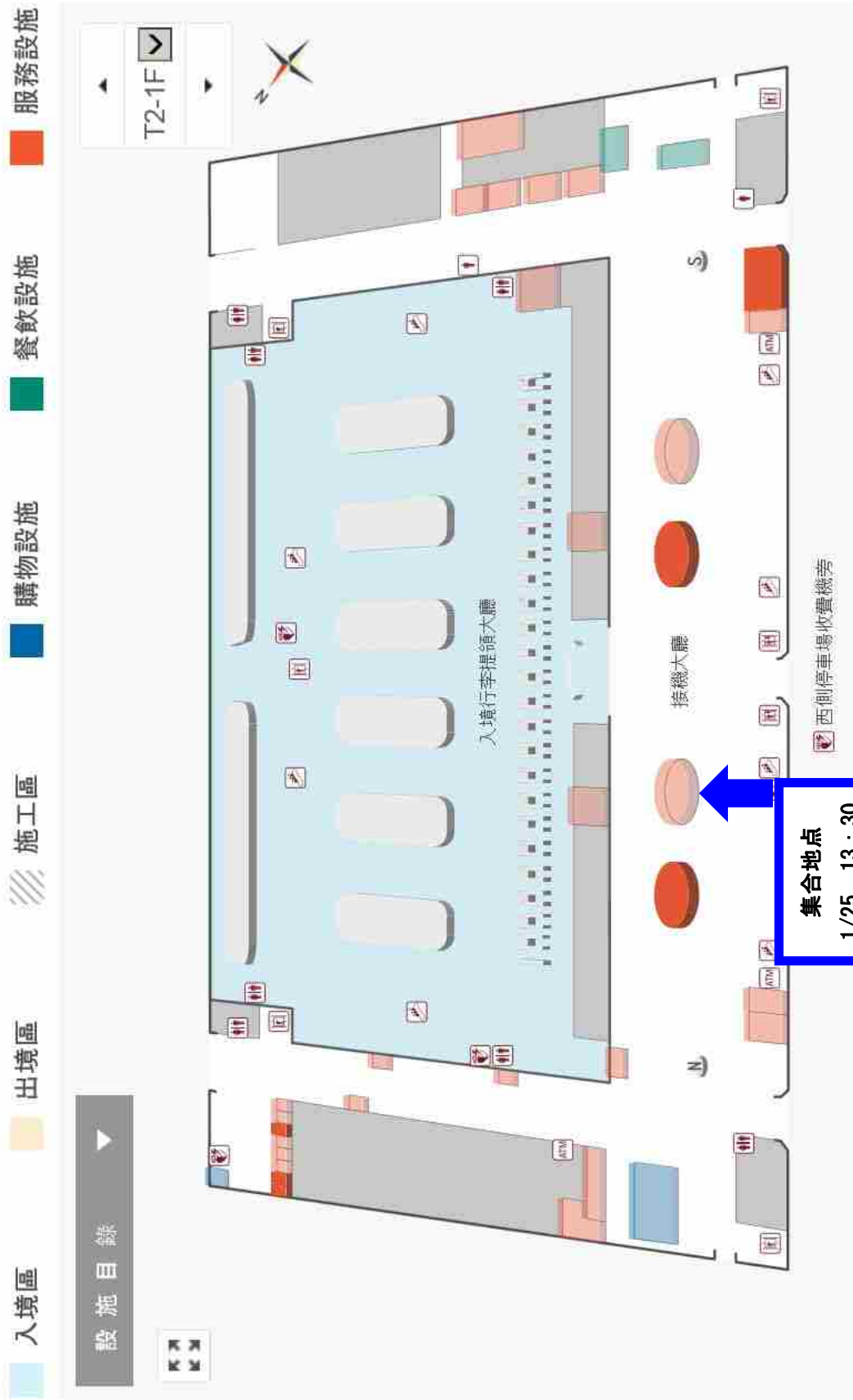
5.4 有关于其他费用

- 1/25 至 1/27 的住宿费由主办单位负责结算。但，于饭店使用的个人外线电话，客房服务等费用请再退房时自行结清。
- 饭店有提供免费的早餐，1/26、1/27 的中餐由主办单位准备，除此之外的餐饮请自行处理。

6 集合地点（1/25）

集合 場所	桃園機場 Terminal 2 1階 集合 13:30
----------	--

第二航廈 1F FLOOR MAP



東アジア地域漂着ごみ対策交流事業 2019

参加者・団体のご紹介

(Profiles of the Participants)



目 次 Index

●沖縄県参加者・団体 Participants from Okinawa Prefecture

沖縄県立芸術大学 (Okinawa Prefectural University of Arts)	1
一般社団法人 J E A N (Japan Environmental Action Network)	2
那覇クリーンビーチクラブ (Naha Clean Beach Club)	3
しかたに自然案内 (Shikatani' s Nature Guide Service)	4
久米島ホテルの会	5
漫湖自然環境保全連絡協議会	6
沖縄県サンゴ礁保全推進協議会 (Okinawa Coral Reef Conservation Council) / NPO法人 美ら海振興会	7
沖縄リサイクル運動市民の会 (Okinawa Citizen' s Recycling Movement)	8
NPO法人 宮古島 海の環境ネットワーク (Miyakojima Sea Environmental Network)	9
石垣島アウトフィッターユニオン	10
NPO法人西表島エコツーリズム協会 (Iriomote Island Ecotourism Association)	11
公益財団法人沖縄こどもの国 (沖縄県地域環境センター) (OKINAWA Zoo&Museum (Regional Environmental Center))	12

●台湾参加団体

財団法人 黒潮海洋文教基金會	13
社団法人 中華民國荒野保護協會	14
社団法人 台灣環境資訊協會	15
國立海洋科技博物館	16
財団法人 海洋公民基金會	17
財団法人 慈心有機農業發展基金會	18
海湧工作室	20
綠色和平基金會	21

●上海・福建参加団体

上海仁渡海洋公益发展中心	22
福建省环保志愿者协会	24

●沖縄県参加者・団体

<p>沖縄県立芸術大学 (Okinawa Prefectural University of Arts) 准教授 藤田 喜久 (Yoshihisa Fujita)</p>	
Introduction	<p>活動地域: 沖縄県 / 日本 専門分野: Ocean biology (esp. crustacean and echinoderm)</p>
研究実績 (出版)	<p>【Main research achievements in 2015】 Fujita, Y., Davie, P.J.F., & Ng, P.K.L., 2015. A new stygobitic prawn of the genus <i>Macrobrachium</i> Spence Bate, 1864, from anchialine caves in Christmas Island, Indian Ocean; with a rediagnosis of <i>M. miyakoense</i> Komai & Fujita, 2005 (Crustacea: Decapoda: Caridea: Palaemonidae). Raffles Bulletin of Zoology, 63: 610-625. Naruse, T., & Fujita, Y., 2015. <i>Lipkemera iejima</i>, a new cavernicolous crab (Brachyura: Xanthidae) from a submarine cave at Ie Island, central Ryukyu Islands, Japan. Crustacean Research, 44: 21-27. Yoshihisa Fujita ・& Seiichi Irimura ・& Youichi Kogure ・& Masanori Okanishi ・& Francois Michonneau ・& Tohru Naruse, 2015. Catalogue of Echinodermata Specimens Deposited in The University Museum (Fujukan), University of the Ryukyus. Catalogue of Materials Deposited in The University Museum (Fujukan), University of the Ryukyus, 10: 106pp. Naruse, T., Fujita, Y., Sasaki, T., & Yamada, T., 2015. <i>Holothuria</i> (<i>Halodeima</i>) <i>nigralutea</i> (Decapoda: Brachyura: Sesarmidae) from Ogasawara Islands. The Annual Report of Ogasawara Studies, 38: 87-90. Osawa, M., & Fujita, Y. (in press). Stomatopods and decapods of Axiidea, Gebiidea and Anomura (Crustacea: Malacostraca) from Irabu-jima and Shimoji-jima Islands, Miyako Group, southern Ryukyu, Japan. Fauna Ryukyuna. Fujita, Y., & Naruse, T. (in press). <i>Karstarma boholano</i> (Ng, 2002) (Decapoda: Brachyura: Sesarmidae) from Tarama-jima Island, Ryukyu Islands, southwestern Japan. Fauna Ryukyuna. Fujita, Y., & Naruse, T. (in press). <i>Karstarma boholano</i> (Ng, 2002) (Decapoda: Brachyura: Sesarmidae) from Tarama-jima Island, Ryukyu Islands, southwestern Japan. Fauna Ryukyuna. Fujita, Y., & Kobayashi, H. (in press). New distributional record of two stygobiotic shrimps (Decapoda: Caridea: Atyidae) in Okinawa-jima Island, Ryukyu Islands, southwestern Japan. Fauna Ryukyuna. Fujita, Y. (in press). Terrestrial and semi-terrestrial decapod crustaceans from Fude-iwa Island, Miyako Group, the Ryukyu Islands, Japan. Bulletin of the Miyakojima-city Museum. Weese, D., Fujita, Y., & Santos, S.R. (accepted). Looking for needles in a haystack: Molecular identification of anchialine larvae from the Shiokawa Spring, Okinawa, Japan. Journal of Crustacean Biology.</p>
Contact information	E-mail: fujitayo@okigei.ac.jp

一般社団法人 JEAN (Japan Environmental Action Network)
 事務局長 小島 あずさ (Kojima Azusa)

Introduction

活動地域: 日本全国

Establishment: September 1990

Number of staff: 5 persons

The Japan Environmental Action Network runs cleanup campaigns on a national basis all year round and, for the International Coastal Cleanup (ICC) held between September and October, calls out for cooperation nationwide and gathers data on garbage picked up as a national coordinator of Japan.

Its another focus is public awareness and environmental education including production and lending of exhibits and educational materials such as photo panels and the Trunk Museum of driftage and holding of lectures and workshops. It plans to carry out educational activities in cooperation with organizations working for conservation of nature or promotion of reusable tableware by using the “Marine Litter Picture Book” that has been newly produced.

It holds “A Day of My Life and Plastic,” a workshop intended for bringing realization that plastic waste in the ocean is a problem to be shared by all people, which is participated by people from administrative organs and corporations.

It also puts efforts into advocacy activities, contributing to the establishment of the Act on Promotion of Treatment of Articles that Drift Ashore in July 2009, which underwent amendment in 2018.



“A Day of My Life and Plastic” workshop

Contact information





URL: <http://www.jean.jp/>

E-mail: cleanup@jean.jp

JEAN fb: www.facebook.com/JEAN.cleanup



海ごみ fb: www.facebook.com/malipjapan

那覇クリーンビーチクラブ (Naha Clean Beach Club) 代表 具志頭 朝一 (Gushikami Tomokazu)

Introduction	<p>活動地域: 沖縄本島 (mainly Senaga Island)</p> <p>Establishment: 1999</p> <p>Number of staff: 20 persons</p> <p>We organize coastal clean-up at Senaga Island, Tomishioro City at 10 AM on every third Sunday from March to November.</p> <p>In Senaga Island, beach driftage is increasing in volume in recent years due to the change in ocean tide caused by the coastal development activity.</p> <p>In the twentieth season of our coastal cleanup activity, we will continue to commit to the activity under the theme of “Nothing can be changed if grown-ups do not change”.</p> <p>【Our next action】</p> <p>In the twentieth season of our activity, we will work on bringing up our “successors” or “successor group” to take up our activity, and also on organizing “environmental education” such as raising environmental-awareness for adults.</p> <p>【Appeal】</p> <p>“Nothing can be changed if grown-ups do not change.”</p>
	
	
Contact information	<p>URL: http://ncb.ti-da.net/ E-mail: icc@ryukyu.ne.jp</p>

しかたに自然案内 (Shikatani's Nature Guide Service)

代表 鹿谷 麻夕 (Shikatani Mayu)

Introduction	<p>活動地域: 沖縄県 Establishment: 2003 Number of staff: 2 persons</p> <p>Our activities are the organization of marine nature observation events and environmental education targeted mainly to the schools and local groups in Okinawa Prefecture.</p> <p>Our program is conducted based on the educational subject chosen each time according to the natural environmental features in each local area. Ecosystems of coral reefs and tidal flats, biodiversity, and marine pollution of plastics are the recently popular subjects.</p> <p>The objective of our environmental education is “to develop an individual, through understanding of the implication of the environment with our daily life, capable of thinking and acting what he/she should do on one’s own will” through our activities.</p> <p>【Our next action】</p> <p>We are regularly giving environmental education in the local elementary school at the coastal area of “Kamiji”, Minatogawa, Urazoe City, since 2006. We also will make an increased effort to address the problem of marine pollution of plastics and educate of this issue for schools and members of the general public.</p> <p>【Our message】</p> <p>We would like to contribute to the better understanding of the valuable natural environment of the local sea for local people and to conserve the beautiful ocean for the next generation through our activities.</p> <p>We also hope to build closer relationship with the people in the area along Kuroshio Current.</p>
 <p>Observation of seagrass bed</p>	 <p>Survey of drifted materials</p>
Contact information	<p>URL: http://www.shikatani.net/, www.facebook.com/shikatani88/ E-mail: m.shikatani88@gmail.com</p>

久米島ホテルの会 事務局長 佐藤 直美 (Sato Naomi)

Introduction

活動地域: 久米島
Establishment: 1994
Number of staff: 45 persons

Based in Kumejima Firefly Pavillion run by Kumejima Town Educational Board, we organize activities for adults throughout the year such as Kumejima Firefly study and observation event from April to May, marine driftage-and-illegal dump collecting event from June to July, study and observation event of terrestrial firefly and larva from August to December. We also present children's programs including study of flora, insects and birds in every Saturday morning and educational events for elementary and secondary school students to experience and conserve the nature of Kumejima Island.

We also conduct illegal dump collection in an area hardly accessible to the public in order to experience the real scene of environmental disruption and enhance deeper understanding of natural conservation activities such as red soil runoff prevention, planting, and environmental education for students.

Our other activities include field guide for people visiting Kumejima (school journey, corporate trainee, travelers) and provision of support for nature playing for monthly visitors from Fukushima (children and parents).

【Our next action】

We will further develop the current activities described above, and at the same time, will work on the research, activities and enlightenment for nature conservation such as rice field reconstruction (to prevent red soil runoff), raising of domestic plant species seedling, natural dye of Kumejima pongee.

【Appeal】

We believe that better understanding of the natural environment of one's local area leads to a sustainable, safe, comfort life with happiness. Abundant contact experience with nature in childhood will definitely bring a fulfilled life as a human being. We intend to act as a guide to nature not through large-scale activities but through appropriate activities.



Firefly-ranger activity: red soil explorers



Clean-up of Tategami Coast
in a blue-Santa costume

Contact
information

URL : <http://kumejima.wixsite.com/kumejimahotaru2>
E-mail : kumehotaru@yahoo.co.jp

漫湖自然環境保全連絡協議会
会員 池村 浩明 (Ikemura Hiroaki)

Introduction	<p>活動地域: 沖縄県 Establishment: July 1999 Number of staff: 15 persons</p> <p>【Our objective】 Lake Man has attracted wide popularity from the local people and also from all over Okinawa Prefecture for its biodiversity and beautiful scenery. However, the urbanization in recent years brought the deterioration of the environmental condition and change in natural ecosystem of the lake. We intend to contribute to the conservation of the natural environment of Lake Man through information exchange, development of necessary mitigation measures and positive actions.</p> <p>【Our next action】 We will further continue the clean-up event “Churakaagii (Beauty) Project” that we have conducted since the establishment of our council with participation of local people, and at the same time, will work on the establishment of “voluntary rules in the effective use of Lake Man” and its dissemination which have been our challenge in the recent years.</p> <p>【Appeal】 We will organize opportunities for free opinion exchange among people and organizations involved in Lake Man, which is the fundamental objective of our association.</p> <p>【Our Message】 Our intension is to protect valuable nature of Lake Man through cooperation of council members, as well as the local residents of all ages.</p>
--------------	---



Trash collection with children at “Churakaagii Program”



Story-telling of the elder local residents about Lake Man in old times

Contact information	<p>URL : http://hozenkyo.blogspot.jp/ E-mail : ikemura-hiroaki@manko-mizudori.net</p>
---------------------	---

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会
(Okinawa Coral Reef Conservation Council) 会員
特定非営利活動法人 美ら海振興会 理事
小菅 陽子 (Kosuga Yoko)

Introduction

● Activity as a member of Okinawa Coral Reef Conservation Council
 Okinawa Coral Reef Conservation Council provides an opportunity for people committed in the protection of coral reef to cooperate and take protective action. Members consist of various field such as local residents, fishermen, tourist agent, farmers, business enterprises in and out of Okinawa, educational persons, researchers, NPO, and administrative organizations, gathered for a common goal of conserving healthy coral reef for the next generation.

The members join the Council as an individual member and conduct coral research and underwater conservation activities in cooperation with the local diving service. We participate to “Coral reef week” held every year around the fifth of March as an executive committee member since last year.

URL : <http://coralreefconservation.web.fc2.com/>

E-mail : coralreef@okinawa.or.jp

● Activities as an executive board member of “NPO Churaumi Promotion Organization”

“NPO Churaumi Promotion Organization” is run by diving services and individual members gathered for restoration of “churaumi”, meaning beautiful sea. As an executive member of the Organization, we are committed in various activities including safety measure exercise of marine rangers, elimination of *Acanthaster planci*, coral conservation activities, underwater/terrestrial clean-up as a part of environmental conservation and improvement of the sea of Okinawa run by the business establishments in Okinawa main island and other island or in cooperation with the local administration.

URL : <http://churaumishinkokai.com>

E-mail : npochuraumi@gmail.com



Investigation of coral around Okinawa main island



Elimination of natural predators of coral



Litter collected by underwater clean-up



Clean-up of the fishing port and marina/collected litter

沖縄リサイクル運動市民の会
(Okinawa Citizen's Recycling Movement)
環境プロジェクト担当 眞喜志 敦(Makishi Atsushi)

Introduction

活動地域: 沖縄県
 Establishment: 1983
 Number of staff: 5 persons

Okinawa Citizen's Recycling Movement was established in 1983 as a civic group in response to the call "Let's care for things around you and bring back wealth of the spirit". We conduct many civic-participation type of events and programs on the theme of waste issues, recycle, environmental education and civic activities.

We are developing various activities based on the four fields: support for ecological industrial activities; establishment of recycling system; environmental education; and establishment of civic sectors including NPO, and propose "opportunities" and "system" which are easy for everyone to participate, with continuous new challenges any time.

【Our next action】

We will continue the awareness-building about waste reduction and 3-R (reduce, reuse, recycle) and the environmental education program. We provide support in waste management in developing countries and island states more and more in recent years.

【Appeal】

We have been working for more than 30 years as a pioneer of environmental NPO in Okinawa. Our original environmental education program "Shopping game" has been played by over thirty thousand people, recently spreading to overseas such as Malaysia and Vietnam.



"Shopping game", an environmental educational program for children to build awareness of waste reduction



Final disposal site in a developing country.

Contact information

URL: <http://oki-rec.pluto.ryucom.jp/>
 E-mail: oki-rec@ryucom.ne.jp

NPO 法人 宮古島 海の環境ネットワーク
(Miyakojima Sea Environmental Network)
事務局長 春川 京子 (Harukawa Kyoko)

Introduction

活動地域: 宮古諸島地域

Establishment: February 2012

Number of staff: 20 persons

Miyakojima Sea Environmental Network(MSEN) was established by those who love ocean around Miyakojima with the aim of leaving this beautiful ocean until the next generation.

Our major activities are Coastal Cleanup, Environmental Education, and Marine research.

【Appeal & Message】

As the plastic problem has been featured widely in Japan recently, we are more opportunity to provide environmental education regarding marine litter to local school..

We also hold, “海(UMI) LOVE in Miyakojima”, which is a collaboration of coastal cleanup and fun event.

We would like to share information with other organizations, and cooperate with one another to expand our activities.



Environmental educational program before cleanup.



Accumulated ocean debris in Northeastern coast of Miyakojima

Contact information

URL : <http://econet.jpn.org/>

E-mail : miyako@econet.jpn.org

石垣島アウトフッターユニオン
(Ishigakijima Outfitter Union)
会長 大堀 健司 (Ohori Kenji)

Introduction	<p>活動地域: 沖縄県石垣市 (Ishigaki Island)</p> <p>Establishment: 2005</p> <p>Number of staff: 17 persons</p> <p>Our main activities are clean-up activity of the field of each one's everyday life several times a year, and environmental education programs about marine driftage.</p> <p>【Our next action】</p> <p>We will continue the field clean-up and promote environmental education programs about marine driftage at the event occasions, for example.</p> <p>【Appeal】</p> <p>Our intension is to carry on with constant and sustainable environmental activity in cooperation with other organization, making the most of ability and knowledge of each member.</p>
--------------	---




Contact information	<p>URL: http://outfitter-union.com/</p> <p>http://2933tours.com/</p> <p>E-mail: fukumimi@wonder.biglobe.ne.jp</p>
---------------------	--

NPO 法人 西表島エコツーリズム協会

(Iriomote Island Ecotourism Association)

理事 徳岡 春美 (Tokuoka Harumi)

<p>Introduction</p>	<p>活動地域: 八重山諸島地域 (mainly Iriomote Island)</p> <p>Establishment: 1996</p> <p>NPO Iriomote Island Ecotourism Association was established with the objective of developing a self-sustaining local society capable of maintaining life in harmony with nature, through improvement of skills and environment-awareness of tourist agents and of consciousness and ability of the local people to conserve natural environment, in order to achieve the goal of establishing peaceful coexistence of people's life and nature in Iriomote Island.</p> <p>We organize various activities in the form of eco-tourism, based on four key themes, "environmental protection", "environmental education", "ecotourism", and "inheritance of culture".</p> <p>Our beach clean-up project has been performed for over 10 years every month as a joint program with the eco-project by Yaeyama Environmental Network. We segregate collected marine litter, examine the amount of litter and the origins of country of PET bottles, and compile the result in a data.</p> <p>【Our next action】</p> <p>Iriomote Island is the second largest island in Okinawa Prefecture with the population of only 2,400. We would like to build up a clean-up system that facilitates participation of visitors such as tourists and students in school journey.</p> <p>【Message】</p> <p>There are many island children participating in our activity, and we strongly wish to conserve the precious nature of our island as it is and pass down to the next generation.</p> <p>Regular members: 50 individuals, 7 organizations Supporting members: 31 individuals</p>
 <p>Beach clean-up project (Kanokawa Beach)</p>	 <p>Environmental education program for island children.</p>
<p>Contact information</p>	<p>URL: http://iriomote-ea.com E-mail: info@iriomote-ea.com</p>

公益財団法人沖縄こどもの国(沖縄地域環境センター)
 OKINAWA Zoo&Museum (Regional Environmental Center)
 こども未来課沖縄県地域環境センター担当
 比嘉 香織(Higa Kaori)・大住 哲哉(Oosumi Tetsuya)

Introduction	<p>活動地域:沖縄県</p> <p>【沖縄こどもの国 OKINAWA Zoo&Museum】 The OKINAWA Zoo & Museum is a human resources development facility with a zoo and a museum for children and about 500,000 visitors annually.</p> <p>【地域環境センター Regional Environmental Center】 The Regional Environmental Center carries out projects entrusted by the prefectural government for the purpose of supporting environmental conservation activities in communities as a base of environmental conservation activities.</p> <p>We lend environmental tool such as educational materials, books, videos and panels and respond to the request and questions on environmental issues from the people of Okinawa Prefecture.</p> <p>We also organize seminars, outdoor observation events, lectures on demand aiming at encouraging the environmental awareness of the people in Okinawa and dissemination of environmental education. We actively work for providing environmental information through various educational activities throughout the year.</p> <p>【Our next action】 We would like to give environmental education targeted to a wider range of people in other islands in Okinawa.</p>
--------------	---



Nature observation event at sea



Workshop using marine driftage




Contact information	URL : http://www.okzm.jp/page/kankyo2/ E-mail : kankyo-center@okzm.jp
---------------------	--

●台灣參加團體



台灣清淨海洋行動聯盟

Taiwan Ocean Cleanup Alliance (T.O.C.A)

	<p>黑潮海洋文教基金會 Kuroshio Ocean Education Foundation</p>
<p>Member</p>	<p>張卉君 (Chang, Hui-Chun) , CEO 溫珮珍 (Wen, Pei-Jen) , Research Fellow</p>
<p>Introduction</p>	<p>In 2000 , “Kuroshio” first introduced the International Coastal Cleanup (ICC) method to Taiwan and became the coordinator of ICC event in Taiwan. Since 2010, 5 NGOs and education institutes formed the “Taiwan Ocean Cleanup Alliances” (TOCA) to promote the awareness of the challenges of marine debris. Additionally, our work projects including :</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Monitoring of near surface microplastic and plastic debris at the northeast coast of Taiwan. 2. Marine mammal captivity issue. 3. Ocean Ecology Observation, documenting and interpreting the Cetaceans around Eastern Taiwan. 4. Promotion of ocean education lectures. 5. On history and culture of Fishery and our Ocean. <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> 
<p>Contact information</p>	<p>URL : http://www.kuroshio.org.tw E-mail : kuroshio@koef.org TEL : 03-8246700 / FAX : 03-8246717 ADD : No.81,Zhongmei Rd., Hualien City, Hualien County 970, Taiwan</p>

<p>Member</p>	<p>胡介申(HU CHIEH-SHEN), Ocean Initiative Coordinator 張筱昀(CHANG HSIAO-YUN), Marketing Specialist</p>
<p>Introduction</p>	<p>Established in Taiwan on June 25, 1995. The Society of Wilderness (SOW) is dedicated to protecting the natural and ecological environment in Taiwan through education, habitat preservation, and public participation.</p> <p>We have 11 chapter office around the island. Since 2008 more than 5000 volunteers joined International Coastal Cleanup(ICC) each year.</p>  <p>(2014 Clean Ocean Youth Movement)</p>  <p>(2015 Cross-Straits Clean Ocean Movement)</p>  <p>(2016 Clean Ocean Business Expo)</p>
<p>Contact information</p>	<p>URL : www.sow.org.tw Sea Lover's Excursion (marine debris monitoring database) : cleanocean.sow.org.tw Email : oceanday@wilderness.tw TEL : 02-2307-1568 / FAX : 02-2307-2568 ADD : No.204, Zhaoan St., Zhongzheng Dist., Taipei City 100, Taiwan</p>

Member

陳姿蓉 (Chen Zih-Rong), Project Manager
溫于璇 (Wen Yu-Hsuan), Project Manager

Introduction

- Monthly beach clean-up and marine debris monitoring in New Taipei City (2013~2018)
- Marine Environmental Education
- Political lobby and policy research
- Enhancing the dissemination of environmental information
- Reef Check (2009~)



Contact
information

URL : <http://teia.tw>

Facebook : <https://www.facebook.com/TEIA.npo/>

E-mail : sea@e-info.org.tw

TEL : (+886)02-2933-2233

ADD : No.38, Wanlong St., Wenshan Dist., Taipei City 116, Taiwan

Member

陳麗淑 (Chen Li-Shu) Exhibition & Education Division Director
洪麗智 (Hung Li-Jhih) Environmental Education Assistant

Introduction

The NMMST is more than just a museum. It epitomizes balance, combining modern design and scenic landscapes. The Museum Complex, which includes the Main Exhibition Building, IMAX Theater, and the Regional Exploration Building, features detailed exhibitions pertaining to marine science, technology, ecology, and culture. Additionally, our project execution plans include: environmental monitoring program, ocean education and exhibition.

- Monthly beach clean-up.
- Environmental education lesson about ICC and free plastic.
- Clean beach carnival.
- Tools of beach clean-up for rent.
- Selling environment-friendly commodities.



Contact
information

URL : <http://www.nmmst.gov.tw/>
Facebook : <https://www.facebook.com/NMMST.TW/>
E-mail : ocean@mail.nmmst.gov.tw
TEL : 02-24696000
ADD : No.367, Beining Rd., Keelung City 202, Taiwan

Member

巫佳容 (Wu, Chia-Jung) , Project Researcher.

Our Slogan: DO ONE THING TO LET OCEAN
BATTER!

- Marine policy research.
- Marine Conservation and coral restoration
- Island Sustainable

Development(environment、fishery、tourism)

- Marine Environmental Education
- Citizen Participation

Introduction



Contact information

URL : <http://www.iocean.org.tw>

Facebook: <https://www.facebook.com/penghucitizens/>

Email : pocf2014@gmail.com

TEL : 06-9275991 /FAX : 06-9275591

ADD : 2F., No.25, Xinying Rd., Magong City, Penghu
County 880, Taiwan (R.O.C.)






Member	陳詠文 (Vivien Chen), Project Manager of Plastic-Free Campaign
Introduction	<p>Tse-Xin Organic Agriculture Foundation (TOAF), established in 1997, is a non-profit organization committed to promoting a healthy environment. In the past 20 years, TOAF has mainly cared for the land, such as promoting organic agriculture and protecting natural habitats. In the beginning of 2016, TOAF joined the movement of proposing a plastic free ocean. With the help from more than 80,000 members worldwide, we have done the following things:</p> <p>Education</p> <ul style="list-style-type: none"> - Regular lectures in schools, camps and industries. - Regular beach cleanups and roadside cleanups. - Developing of plastic-free education teaching material. <p>Enterprise Promotion</p> <ul style="list-style-type: none"> - Holding lecture, beach cleanups and roadside cleanups. <p>Experience Sharing</p> <ul style="list-style-type: none"> - <i>Environmental Sustainability and Plastic Free Conference, 2016</i> Representatives from government, industries, academia, and NGOs convened to facilitate the process of solving plastic waste. - <i>Marine Debris Symposium, 2017</i> Experts from USA, Korea, Japan gathered together to promote the awareness of marine debris issue in Taiwan. <p>Political lobby</p> <ul style="list-style-type: none"> - Engage in the dialogue platform between EPA and NGO alliance group to discuss further policy and actions since mid-2017. <p>Campaign “WastefreeDrinking”</p> <ul style="list-style-type: none"> - Encouraging enterprises to join the campaign, which is to reduce the usage of disposable cups and bottles in a company. - Launch an event to encourage elementary schools’ students to “reduce the usage of single-use plastic, and get points.” - Encourage schools events, such as plastic-free carnivals and field trips.



	
<p>Contact information</p>	<p>URL 1: http://toaf.org.tw/en URL 2: http://wastefreedrinking.org/ Facebook: https://www.facebook.com/bwnoplastic/ Email: plasticfree@toaf.org.tw TEL: +886-2-2546-0640 / FAX: +886-2-2545-3152 ADD: 4F., No.75, Sec. 4, Nanjing E. Rd., Songshan Dist., Taipei City 105, Taiwan 地址: 105 台北市松山區南京東路四段 75 號 4 樓</p>



海湧工作室

Hiin studio

Member	郭芙 (Kuo Fu) , Deputy CEO
Introduction	<p>海洋教育活動 Marine education activities 淨灘結合旅遊 Beach cleaning combined with tourism 找尋海洋廢棄物的回收方案 Recycling for marine litter 研發環境友善商品 Ecofriendly goods 餐具租借 Tableware Rent</p>   
Contact information	<p>URL : http://hiinstudio.com/ E-mail : service@hiinstudio.com TEL : 0928-222-068 ; 0982-504-549 ADD : 8F., No.6, Ln. 25, Jianan St., Xinzhuang Dist., New Taipei City 242, Taiwan</p>

Member	顏寧 (Yen Ning, イェンニン), oceans campaigner																														
Introduction	<p>Greenpeace started Taiwan office since 2010. We launched plastic campaign in 2016, and below is what we have done.</p> <p>[Political lobby]</p> <ul style="list-style-type: none"> - We successfully made the government to ban microbeads products with other NGOs in 2016. In 2017, the NGO alliance group and EPA form a marine debris platform together and we release an action plan of marine debris governance. - We successfully promote the idea of “Free plastic marathon” to Taipei City, New Taipei City and Taichung City. <p>[Engagement]</p> <ul style="list-style-type: none"> - free plastic school fair/anniversary with 50 schools - Regular beach clean-up with our volunteer <p>[Research & survey]</p> <ul style="list-style-type: none"> - Microplastic trawling at sea - Beach survey around Taiwan with local NGOs   <p>全臺各區 體積占前三名 廢棄物種類 (測站數)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>區域</th> <th>塑膠瓶罐</th> <th>漁網繩索</th> <th>發泡</th> <th>其他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北區</td> <td>16</td> <td>14</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中部</td> <td>17</td> <td>15</td> <td>5</td> <td>漁網/外帶杯</td> </tr> <tr> <td>西南</td> <td>19</td> <td>11</td> <td>20</td> <td>外帶杯</td> </tr> <tr> <td>東南</td> <td>16</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>外帶杯/發泡</td> </tr> <tr> <td>宜花</td> <td>16</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>塑膠袋</td> </tr> </tbody> </table>	區域	塑膠瓶罐	漁網繩索	發泡	其他	北區	16	14	10		中部	17	15	5	漁網/外帶杯	西南	19	11	20	外帶杯	東南	16	8	6	外帶杯/發泡	宜花	16	7	5	塑膠袋
區域	塑膠瓶罐	漁網繩索	發泡	其他																											
北區	16	14	10																												
中部	17	15	5	漁網/外帶杯																											
西南	19	11	20	外帶杯																											
東南	16	8	6	外帶杯/發泡																											
宜花	16	7	5	塑膠袋																											
Contact information	<p>URL : http://www.greenpeace.org/taiwan/zh/</p> <p>Facebook : https://www.facebook.com/greenpeace.org.tw/</p> <p>Email : inquiry.tw@greenpeace.org</p> <p>TEL : +886 (2) 2361-2351 / FAX : +886 (2) 2361-2033</p> <p>ADD: No.109, Sec. 1, Chongqing S. Rd., Taipei City 10045, TAIWAN</p>																														